

モットー「楽しき中にも規律あり」トップより先に歩かない。間隔を開けない。アンカーより後にならない。

2016年1月10日

一般組各位

兵庫東歩こう会

第227回例会「飛鳥石造物めぐり」ご案内

ロマンに誘われて飛鳥に出かけてみませんか。今回は石舞台古墳や酒船石、亀石などの謎と愛らしさに満ちた古代の石造物を中心にめぐってみます。

記

集合日時：2016年 2月 18日（木） 10時10分 受付開始：9時40分

2回連続雨天中止のため **予備日 2月23日（火）**

集合場所：近鉄 南大阪・吉野線「飛鳥」駅 改札口

雨天対応：気象庁のホームページ（URL：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>）またはNTTの天気予報（0742+177）で、奈良県北部の例会前日17時発表、翌日06-12時、12-18時の降水確率のいずれかが50%以上のときは中止とします。

コース：飛鳥駅(90m)～猿石～鬼の雪隠・まないた～亀石～橘寺（門前）～石舞台古墳（130m）～酒船石～飛鳥寺～明日香村埋蔵文化財展示室～甘樫丘(137m)～近鉄橿原神宮前駅(80m)
距離：9.8km、時間：4h45m、標高差：60m 難易度：★★

服装：帽子、歩きやすい靴、ステッキ

持参物：弁当、飲料水、敷物、タオル、雨具(傘が便利です)

費用：500円

保険：当クラブで発生した事故については会として一切責任は負えません。各自の責任のもとに対応をお考えください。万一のことを考えまして団体傷害保険には加入しています。

電車案内：飛鳥駅への電車便は少なく、9:35 飛鳥着便に世話役も同乗します。また **10:03 着便が集合時間に間に合う最終便です。次便は大幅に遅れます。余裕をもってご乗車ください。**

| 阪急宝塚線急行梅田行 日生エクスプレス梅田行 | | | 市営地下鉄御堂筋線 | | 近鉄南大阪線急行吉野行 | |
|---------------------------|------|------|-----------|------|-------------|-------|
| 川西能勢口 | 十三 | 梅田 | 梅田 | 天王寺 | 大阪阿部野橋 | 飛鳥 |
| 7:49 | 8:14 | 8:19 | 8:27 | 8:42 | 8:50 | 9:35 |
| 8:19 | 8:41 | 8:44 | 8:52 | 9:08 | 9:20 | 10:03 |

注）大阪阿部野橋での急行は、前4両に乗車してください。後ろ4両は古市で切り離されます。

歩きどころ・みどころ

橘寺：寺伝では、飛鳥時代に推古天皇の命により聖徳太子が創建された寺院であること、そしてこの地は聖徳太子の生誕の地でもあると伝えられています。また聖徳太子建立七大寺の一つとされています。

石舞台古墳：日本最大級の横穴式石室を持つ、飛鳥を代表する古墳のひとつです。

築造は7世紀の初め頃と推定され、元々は1辺約55メートルの方墳だったとされていますが、早い時期に古墳上部の盛土が失われ、現在は巨大な石室が露出した姿となっています。

その形状から『石舞台』と呼ばれるようになったと言われています。

大小約30個の花崗岩が使用されており、一番大きな石で約77トン、総重量は2,300トンと推定されています。この石舞台古墳に埋葬された人物は不明ですが、6世紀後半にこの地で政権を握っていたという蘇我馬子の可能性が高いと言われています。

飛鳥寺： 政敵であった物部守屋に勝利した蘇我馬子が建立した、我が国最初の本格的な伽藍をもった仏教寺院である。その建設には百済国から 6 人の僧、寺大工、露盤博士、瓦博士、画工などの技術者の支援を受けて行われ、推古 14 年(606)完成している。本尊は「飛鳥大仏」と通称される釈迦如来です。

蘇我入鹿首塚： 飛鳥寺の境内を西に抜けたところに立つ五輪塔。

大化の改新のとき、飛鳥板蓋宮で中大兄皇子らに暗殺された時の権力者・蘇我入鹿の首がそこまで飛んできたとか、襲ってきた首を供養するためにそこに埋めたともいわれる。五輪塔自体は鎌倉時代または南北朝時代の建立と考えられている。

甘樫丘： 日本書紀などの中に記述がみられ、7 世紀前期には当時の有力者であった蘇我蝦夷、入鹿親子が大邸宅を構えていた場所でもあるとも言われている。頂上からは飛鳥一円が眺望できる。

飛鳥石造物： 奈良県飛鳥地方（現在の明日香村を中心とした地域）およびその周辺に残る、飛鳥時代に石で作られた遺物・遺構の総称。花崗岩でつくられた物が多い。人物像などは日本の文化から見て明らかに異形なもので、その他用途のはっきりしないものも多く、これらは謎の石造物と言われている。道教との関係を示唆する見解もある。

猿石： 梅山古墳（現：欽明天皇陵指定）西に隣接する吉備姫皇女王墓内にある奇石で、全部で 4 体ある。ユニークな人面石像であるが、猿ではなく渡来人を象ったものであるといわれている。

まないた
鬼の俎・

せつちん
鬼の雪隠： 畑の中を通る遊歩道の脇の高台には「鬼の俎」が、遊歩道を挟んだ高台の麓に「鬼の雪隠」がある。両者は直線距離にして数十メートル離れているが、元は 1 つの古墳の石室だったものが、盛土が無くなったうえ、二つに分かれてしまったものである。元々は繰り抜かれた横口式石槨の石室（鬼の雪隠）とその底石（鬼の俎）であった。

亀石： 重さ 10 トンを超す花崗岩に亀の顔が巧みに彫られてある。猿石と同系の素朴な石彫で、何のためにここにあるのか謎とされている。置かれている場所からみて、橘寺か川原寺に関係のある飾り石であろうとか、何かの境界をなしたとか、仏教渡来以前の土俗信仰を現わすものとかの推測が行われている。

酒船石： 宇宙人のメッセージを思わせるような模様が特徴です。昔お酒を搾（しば）るのに使ったとか、薬を使うのに使ったとか色々な説があるようですが実際の所は謎です。ただ、この石の近くで水を引く土管や石棺が発掘されていることから、この石に水を引いていたのは確かなようです。側面には石を割った跡があり、近年他にこの石を流用したようです。

連絡事項： **コース途中からの参加、途中からの帰宅、コースを外れた個人行動は一切お断りします**

受付： 当日、現地で参加の受付をします。

[問合せ先] 久保、松井